

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

科目基本情報

年 度	2025年度	年 次 / コ ー ス	夜間部2年	ブライダル科	科 目 区 分	ゼミ科目	
科 目 番 号	MS621	分 類	演習科目	授 業 科 目 名	産学協同ゼミ	英語科目名	Cooperative Seminar Industry-academia
開 講 学 期	後期科目	単 位 数	1単位	年間授業時間数	20時間	授 業 コ マ 数	14コマ
授 業 の 方 法	演習科目	担 当 教 員 名	塚本 真央	実務経験あり	備考		
経 歴	本校卒業後、都内のレストランでウェディングプランナーを経験。勤めていた5年間、約350組の結婚式を担当。プランナー業務だけでなく、宴会キャプテン、司会、介添え、レストランサービスをマルチに経験。葬祭の経験も持つ冠婚葬祭のスペシャリスト。I級ブライダルコーディネーター技能士。						

授業・科目情報

学習目標 夜間部ブライダル科を対象とし、衣装系企業と提携した産学連携プログラムです。卒業式で着用する袴やタキシードの受注会として「卒業式袴の展示会」を開催します。学生は目標を設定し、企業からのアドバイスを受けながら、集客や接客方法を自ら考え、実践する実践的な学びの場となります。

教科書 参考書

授 業 計 画	回数	タイトル	内容
	1	ブライダルマネジメント振り返りと再確認	前回の活動の振り返りを通して、展示会の目的と各自の目標を再確認する。
	2	展示会の全体スケジュールとゴールの再確認	展示会全体の流れとスケジュールを把握し、全体像を共有する。
	3	チーム内役割の再整理・責任範囲の明確化	各チームの役割と責任範囲を明確にし、主体的に取り組む姿勢を整える。
	4	集客・広報の進捗報告と補強策の検討	広報・集客の進捗を確認し、足りない部分を補う施策を検討する。
	5	企業担当者との中間打ち合わせ (アドバイス・課題整理)	企業担当者との中間確認を行い、実現可能な運営内容へと調整する。
	6	接客マナー基礎 (言葉遣い・表情・動作)	接客マナーの基本 (挨拶・言葉遣い) を実践的に習得する。
	7	接客ロールプレイ① (案内・受付・誘導)	来場者受付・誘導・案内の接客ロールプレイを通じて初期対応力を高める。
	8	接客ロールプレイ② (衣装説明・サイズ案内)	衣装の説明方法や提案力を接客ロールプレイで習得する。
	9	接客ロールプレイ③ (クロージング)	クロージングと予約獲得のトークスキルを実践練習する。
	10	接客内容に関する企業担当者による実践アドバイス	企業からの接客フィードバックを受け、改善点を具体的に把握する。
	11	展示会本番①	実践を通して顧客対応と接客の初期力を試す
	12	展示会本番①	実践を通して顧客対応と接客の初期力を試す
	13	展示会本番①	実践を通して顧客対応と接客の初期力を試す
	14	展示会本番②	反省点を活かし、対応の精度とチーム連携を高める
	15	展示会本番②	反省点を活かし、対応の精度とチーム連携を高める
	16	展示会本番②	反省点を活かし、対応の精度とチーム連携を高める
	17	展示会本番③	最終日にふさわしい完成度とホスピタリティを発揮する
	18	展示会本番③	最終日にふさわしい完成度とホスピタリティを発揮する
	19	展示会本番③	最終日にふさわしい完成度とホスピタリティを発揮する
	20	フィードバック・記録	本番3日間の記録を整理し、実績と課題を振り返る。
	21	展示会成果のデータ分析	来場数・アンケートなどのデータ分析を通して成果を数値で捉える力を養う。
	22	チーム別振り返り	成果発表資料を制作し、表現・報告力を身につける。反省点と改善策の整理
	23	成果発表資料の作成 (プレゼン・スライド)	発表を通して、自らの学びを他者に伝える力を育てる。
	24	成果発表会・企業講師・授業全体のまとめ	プロジェクト全体の経験を振り返り、今後の自信と成長に結びつける。
	25		
	26		

授業の進め方 授業はグループ制で進め、毎回ロールプレイや振り返りを取り入れながら実践力を養います。全員が役割を持ち、主体的に取り組むことで、現場対応力とチーム力を高めます。

成績評価方法 準備期間及び、ゼミ3日間、振り返り期間に設定し、出席状況及び、貢献度に応じて評定を決定する。

関連科目 『ブライダルマネジメント』『ブライダルマーケティング&セールス』

学生へのメッセージ この授業は、展示会の準備から本番、振り返りまでを学生主体で実施する実践型の学びです。全員が当事者意識を持ち、チームで支え合いながらリアルな現場力を養っていきます。「人に選ばれる接客」とは何かを、経験からつかみ取ってください。